

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

四旬節 5 主日 5<sup>th</sup> Sunday of Lent (C)

罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい (ヨハネ 8・7)

“To anyone who has not sinned let him be the first to throw a stone at her” (Jn 8-7)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： 教会委員会

## ミサの前は祈りの時間です。沈黙を守りましょう。

### イースターエッグのお願い

イースターエッグご協力をお願いします。3月27日10時ミサ前に、ラッピングをしたゆで卵おひとり7個ぐらいを玄関のカゴに入れてください。傷みやすいので、当日茹でたものをお持ちください。(地区部)

### 四旬節黙想会と共同回心式

今年の四旬節の黙想会は、3月20日午前10:00~、指導司祭はパウロ会山内神父様です。ミサは黙想会后となります。尚、共同回心式は黙想会前30分とミサ後に行われます。

### 献堂50周年記念事業第4期献金報告

2016年第4期中間報告(2月末現在)

申込者数: 41名(目標: 200名)

献金合計: 746,850円(目標: 3,000,000円) 1

期からの合計は 8,953,113円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

### 十字架の道行きの日程

今年の十字架の道行きは3月18日(金)午前10:00からです。

### 50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

2月まで22名277環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。

(50周年委員会)

### First Communion Class

Class for candidates for First Communion is given by Bro. Ide & started February 28.

### Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 8,953,113 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

### Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

### ウルスラ修道会でのミサ

次は3月17日(木)です。おいしいランチ付です。皆様ご参加下さい。

### 共同祈願の祈り

神よ、あなたの愛を、  
注いでください。

その他今後の予定

03月13日(日) 四旬節第5主日 教会委員会

03月20日(日) 受難の主日(枝の主日) PALM SUNDAY  
黙想会・共同回心式

03月27日(日) 復活の主日 EASTER

今週の掃除は3月19日(土)

市川・行徳地区です。皆様ご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty

March 19<sup>th</sup> Saturday

Ichikawa・Gyotoku Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



## 『四旬節第5主日』C年

今日の福音 ヨハネによる福音(8:1-11)

[そのとき、]イエスはオリーブ山へ行かれた。朝早く、再び神殿の境内に入られると、民衆が皆、御自分のところにやって来たので、座って教え始められた。そこへ、律法学者たちやファリサイ派の人々が、姦通の現場で捕らえられた女を連れて来て、真ん中に立たせ、イエスに言った。「先生、この女は姦通をしているときに捕まりました。こういう女は石で打ち殺せと、モーセは律法の中で命じています。ところで、あなたはどうお考えになりますか。」イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみ込み、指で地面に何か書き始められた。しかし、彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたたちの中で罪を犯したことはない者が、まず、この女に石を投げなさい。」そしてまた、身をかがめて地面に書き続けられた。これを聞いた者は、年長者から始まって、一人また一人と、立ち去ってしまい、イエスひとりと、真ん中にいた女が残った。イエスは、身を起こして言われた。「婦人よ、あの人たちはどこにいるのか。だれもあなたを罪に定めなかったのか。」女が、「主よ、だれも」と言うと、イエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。」

聖書新共同訳より引用

## A Reading from the Holy Gospel according to John (8 : 1-11)

*Go away, and sin no more*

Jesus went to the Mount of Olives. At daybreak he appeared in the Temple again; and as all the people came to him, he sat down and began to teach them.

The scribes and Pharisees brought a woman along who had been caught committing adultery; and making her stand there in full view of everybody, they said to Jesus, "Master, this woman was caught in the very act of committing adultery, and Moses has ordered us in the Law to condemn women like this to death by stoning. What have you to say?" They asked him this as a test, looking for something to use against him. But Jesus bent down and started writing on the ground with his finger. As they persisted with their question, he looked up and said, "If there is one of you who has not sinned let him be the first to throw a stone at her." Then he bent down and wrote on the ground again. When they heard this they went away one by one, beginning with the eldest, until Jesus was left alone with the woman, who remained standing there. He looked up and said, "Woman, where are they? Has no one condemned you?" "No one, sir" she replied. "Neither do I condemn you, said Jesus "go away, and don't sin any more."

This is the Gospel of the Lord

### いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人<sup>ぬすびと</sup>には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることができるよう

に。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる

年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、

目が見えない人に視力の回復を告げることができるよう。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

## いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、  
信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、  
西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）